

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	自転車を活用したまちづくり推進事業
事業主体 (連絡先)	安曇野市役所政策部政策経営課 安曇野市豊科 6000 番地
事業区分	(1) 教育・文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,612,318 円 (うち支援金 : 2,311,000 円)

事業内容

自転車活用推進法の施行に伴い、国や県でも推進計画が策定されています。安曇野市でも令和元年度から本格的に自転車を活用したまちづくりの取り組みをはじめ、様々な事業を実施しました。

- ・サイクリングコースの設定
- ・自転車での健康づくり実証実験：4月～10月
- ・サイクリング教室：計8回
- ・市内高校や民間事業者と連携した交通安全啓発



【自転車指導の様子】

事業効果

- ① 自転車での健康づくり実証実験やサイクリング教室の開催により市民の皆さんが自転車に乗る機会が増えた。
また、広報等で自転車による健康効果を目にすることで、自転車への興味関心が高まり利用者が増加した。
- ② 自転車利用者に対し交通安全啓発をすることで、自転車乗車時の注意点を認識することができるので、自動車運転者となった時に自転車の行動予測ができ、結果、交通事故抑制に繋がった。

【目標・ねらい】

- ① 通勤、通学、買い物等で普段から自転車を利用する市民の増加
- ② 自転車が関係する交通事故件数の減

※自己評価【B】

【理由】

- ・実証実験では健康効果が検証され、結果を市民へ広報することで自転車への興味関心が高くなり、利用する市民が増えたため。
- ・自転車を利用する機会の多い高校生等を対象とし交通安全啓発をすることで、自転車が関係する交通事故抑制に繋がる。

今後の取り組み

- ・サイクリングコースに関しては設定が完了したので、今後は走行環境整備や活用を進めていく。
- ・実証実験教室は、新たに25名の参加者を募集し、2年目の検証を行う。
- ・サイクリング教室は、今後自転車に乗る機会が多くなる小学校低学年を中心とした教室を開催する。
- ・交通安全啓発については、引き続き民間事業者との連携により安全利用を呼び掛け、豊科高等学校において、交通安全教室を行う。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある